



十日町市

Tokamachi

ぎ"かい
だより

12月定例会 議決結果

議案の議決結果

今回も
じっくり審議
しました!



議案番号等	件名	付託委員会 審査結果	採決状況	議決結果
市長提出議案	121 人権擁護委員候補者の推薦（相澤きよえ氏）	—	全員賛成	同意
	122 損害賠償の額を定めること	—	全員賛成	原案可決
	123 十日町市地域自治推進条例の一部を改正する条例制定	—	全員賛成	原案可決
	124 十日町市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定	総務文教	賛成多数	原案可決
	125 十日町市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定	総務文教	賛成多数	原案可決
	126 十日町市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定	総務文教	全員賛成	原案可決
	127 指定管理者の指定（十日町市川西総合体育館、十日町市庚塚運動場、十日町市橋運動場及び十日町市スポーツバレー川西）	総務文教	全員賛成	原案可決
	128 十日町市産業拠点強化を促進するための市税の特例に関する条例の一部を改正する条例制定	産業建設	全員賛成	原案可決
	129 指定管理者の指定（サンクロス十日町）	産業建設	全員賛成	原案可決
	130 指定管理者の指定（川西有機センター）	産業建設	全員賛成	原案可決
	131 指定管理者の指定（清津倉庫美術館）	産業建設	賛成多数	原案可決
	132 指定管理者の指定（奴奈川キャンパス）	産業建設	賛成多数	原案可決
	133 指定管理者の指定（清水ミュージアム）	産業建設	賛成多数	原案可決
	134 市道の廃止（沖立堤防1号線）	産業建設	全員賛成	原案可決
	135 市道の変更(高田町6丁目線、千年ニュータウン3号線)	産業建設	全員賛成	原案可決
	136 市道の認定（沖立堤防1号線）	産業建設	全員賛成	原案可決
	137 指定管理者の指定（十日町市利雪親雪総合センター）	産業建設	全員賛成	原案可決
	138 指定管理者の指定（十日町市市民交流センター、十日町市市民活動センター及び十日町市まちなかステージ立体駐車場）	産業建設	全員賛成	原案可決
	139 指定管理者の指定（十日町市ほくほく線高架下駐車場）	産業建設	全員賛成	原案可決
	140 十日町市立保育所条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例制定	厚生	賛成多数	原案可決
	141 指定管理者の指定（十日町市川西福祉センター）	厚生	全員賛成	原案可決
	142 指定管理者の指定（十日町市川西高齢者コミュニティセンター）	厚生	全員賛成	原案可決
	143 平成30年度十日町市一般会計補正予算（第5号）	—	全員賛成	原案可決
	144 平成30年度十日町市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	—	全員賛成	原案可決
	145 平成30年度十日町市国民健康保険診療所特別会計補正予算（第2号）	—	全員賛成	原案可決
	146 平成30年度十日町市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	—	全員賛成	原案可決
	147 平成30年度十日町市介護保険特別会計補正予算（第3号）	—	全員賛成	原案可決
	148 平成30年度十日町市簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）	—	全員賛成	原案可決
	149 平成30年度十日町市下水道事業特別会計補正予算（第3号）	—	全員賛成	原案可決
	150 平成30年度十日町市水道事業会計補正予算（第3号）	—	全員賛成	原案可決
請願	4 「核兵器禁止条約」に署名・批准を求める意見書の提出に関する請願	総務文教	賛成多数	採択
議会提出議案	10 日本政府に「核兵器禁止条約」に署名・批准を求める意見書	—	賛成多数	原案可決
	11 中条第二病院存続に向けた支援を求める意見書	—	全員賛成	原案可決
	12 議員派遣（新潟県市議会議長会）	—	全員賛成	原案可決

12月定例会

● 議会をPick-Up!

平成30年 第4回定例会

会期 12月7日～17日（11日間）

審議結果は下段及び前ページに掲載。



一般会計補正予算第5号
12億9千万円を追加し、
総額377億6千万円

1 小中学校の普通教室に空調設備を整備します（追加4億3、493万円）

平成30年度国の1次補正予算に呼応し、児童生徒等の熱中症対策として、小中学校計174の普通教室に空調設備を整備します。

総事業費は4億3、493万円で、主な財源は、国の補助金8、664万円、学教債3億4、710万円です。

2 私立認定こども園の運営に施設型給付費を6、190万円追加

私立認定こども園4園（いずみこども園・中条こども園・中里なかよし保育園・まつだい保育園）に施設型給付費を追加で給付するものです。

これは、国からの処遇改善加算額が確定したことから、1号認定利用者の増加に対応したものです。補正の結果、認定こども園運営事業の総額は、7億3、359万円となりました。



「核兵器禁止条約」に署名・批准を求める意見書の提出に関する請願

請願者…十日町平和セン

ター議長…小林庄一

紹介議員…宮沢幸子、太田祐子

【意見書の趣旨】

唯一の戦争被爆国である日本は、核保有国と非保有国の橋渡し役を推進



中条第二病院存続に向けた支援を求める意見書

提出者…厚生常任委員会（委員長…太田祐子）

【意見書（全文掲載）】

中条第二病院は、十日町保健所管内（十日町市・津南町）で唯一の精神病院として管内の精神医療を支え、また魚沼二次医療圏域の精神科公的医療機関として重要な役割を担っています。

しかしながら、精神科医療を取り巻く厳しい経営環境や医師確保の困難性を理由として、経営主体である厚生連はその閉

し、「核兵器禁止条約」への署名・批准を目指して、調査・研究すること。

それまでの間は、オブザーバーとして締約国会議及び検討会議に参加すること。

提出先…内閣総理大臣

鎖方針を打ち出し、それに向けた準備を進めています。

当地域のような豪雪地帯において精神医療を守るためには、日常的な生活圏に病床を有する医療機関が必要であり、当地域内唯一の精神病院が閉鎖されることは、到底容認できることではありません。

よって、精神医療を主管する新潟県に対して、下記の事項について措置されるよう強く要望します。

賛否等の状況

賛否が分かれた議案のうち、起立採決等により個々の賛否が明らかな議案について掲載。（○：賛成、×：反対、－：欠席）
※庭野議員は議長職のため、特別多数議決以外の議案については表決（賛成・反対の意思表示）権はありません。

議案番号等	議決結果	賛成 (起立)	反対 (着席)	いしづえ 礎					自由の風			だ い ち				さん し かい 三 矢 会			日本共産党 十日町市議団			さ く ら			庭野政義		
				小林弘樹	福岡哲也	富井高志	宮沢幸子	水落静子	藤巻誠	吉村重敏	根津年夫	山口康司	太田祐子	小林正夫	小野嶋哲雄	樋口利明	村山達也	小林均	星名大輔	鈴木一郎	安保寿隆	鈴木和雄	滝沢繁	遠田延雄		高橋俊一	大嶋由紀子
124	原案可決	16	6	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	×	×	○	○	×	×	×	○	○	○	※		
125	原案可決	16	6	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	×	×	○	×	○	○	×	×	×	○	○	○	※
131	原案可決	19	3	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	※	
132	原案可決	19	3	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	※	
133	原案可決	19	3	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	※	
140	原案可決	19	3	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	※	
請願 4	採 択	20	2	○	○	○	○	○	○	×	○	－	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	※	
議会 発10	原案可決	20	2	○	○	○	○	○	○	×	○	－	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	※	

- ます。
- ① 中条第二病院の存続に向けた財源措置を含めた財政的支援を行うこと。
 - ② 必要な医師の確保支援
 - ③ 信濃川沿いの精神医療の体制を引き続き確保すること。
- 提出先…新潟県知事



持続性ある除雪体制、手話言語条例、民泊と農家民宿

村山達也 議員

質問 道路除雪は十日町市が担う福祉の根幹であるが、慢性的な人手不足で持続可能な除雪体制が維持できるか非常に危惧されている。見解と今後の対策について伺う。

答弁 平成25年度に創設した除雪基本料前払い制度により、冬期の従業員確保や除雪機械整備に係る経費相当を前払いすることで、安定した除雪体制の確立に取り組んでいます。

除雪基本料前払い制度では、前払い金額を超えた場合、単価が1割削減という部分について、改善ができないか選択制にできないかという要望をいただきます。そういう声を聞かせていただく中で、今後よりよい制度にしていきたいと考えています。

また、業者が事情により撤退される場合、近隣の地域路線を担う方に対応することになります。地域の中で対応していただくことを基本に、状況に応じて考えなければなりません。

質問 『十日町市みんなの心をつなぐ手話言語条例』の制定を受けて、今後の支援や施策について伺う。

答弁 保育現場、教育現場と協議を進める中で、手話に対する理解と普及を図りたいと考えています。



先進事例：小千谷市での「手話フェスタ」

また、手話奉仕員の活動を通して手話が言語であるという意識の醸成と手話奉仕者の育成、拡充も検討していきたいと考えています。

質問 民泊・農家民宿は宿泊者による夜間の騒音、不特定多数の出入り、犯罪の温床の可能性など、住民にとって不安な課題もある。今後の危機管理姿勢を伺う。

答弁 近隣住民とのトラブル回避のためには何が必要かなど、引き続き研究しながら取り組みたいと考えています。



小中学校の統合について 学校は地域の拠り所です！

星名大輔 議員

質問 小中学校の統合を検討していますが、中でも十日町中と川西中の統合は、橋小学校区から通学する負担が大きいので撤回を求めます。

答弁 中間報告での例示ですので、今後どういう形で議論ができるか、学区適正化検討委員会の議論を待ちながら考えていきたいと思っています。

質問 まつのやま学園のような小中一貫校を他の地域にも開校できないか。

答弁 中学校の老朽化に伴い併設された経緯があり、新たに校舎建築をする事情もなく、今のところ一体型の小中一貫校については考えていません。

質問 通学路等の変更に伴い、公共事業の優先順位も見直されるのですか。

答弁 優先度を判断する大事な要素、基準です。変更後の状態を考えて判断をすることになると思います。

質問 どんな小さな学校であっても同窓生の心の支えであり、地域から学校がなくなることは大変なことであると思っていますか。

答弁 重々承知しています。少子化で学校が極めて小規模になる中、学ぶ環境をよりよくするには統合しか考えられないということで、学区適正化委員会に検討していただいています。

いろんな学校が統合を乗り越えてきましたので、もし統合になった場合は、先人に倣って乗り越えていただきたいという気持ちです。

質問 市民の声を寄せ集める時間をとって慎重に進めてほしい。

答弁 教育上の課題をどう解決するかをまず考えなければなりません。ある程度の規模があつたほうが子ども達も幸せになれるのではという大きな考えがあります。ご指摘の点は十分わかった上で、しっかりと進めなければならぬ最も大事な課題の一つだと認識しています。

●学区適正化検討委員会の資料に示されている中学校の統合例

- ・十日町中 = 川 西 中
- ・南 中 = 吉 田 中 = 松 代 中
- ・中 条 中 = 下 条 中
- ・水 沢 中 = 中 里 中 など

いずれも生徒数が多い学校へ統合される見込み。
まつのやま学園は例示なし。

(作成：星名大輔議員)



道路や公園等の安全策、地震による火災予防策について

小林 正夫 議員

質問 不審者等による不正行為が多発し、子どもやお年寄り、また女性など弱者に対しての犯行が多い。防犯カメラは抑止力や犯罪者の特定にも効果的であり設置が強く望まれています。どのような対策や対応をお考えか。

答弁 現在、国、県においては、防犯カメラの設置に対する補助金等はありませんが、全国各地で起きている事件等を受けて、対応について検討を始めたと聞いています。

当局においても、現在、補助制度はありませんが、国、県の今後の動きを注視しながら、防犯対策を考えていきたいと思っています。

質問 地震発生による火災では、振動や倒壊による被害以外に、停電で遮断された電気が復旧された際に、引火し大火災が予想されます。大火を未然に防ぐ意味から、地震発生の際に自動的に電気を強制遮断し、災害を最小限に抑える措置が望まれるが対応はいかに。

答弁 地震による停電復旧時の火災については、防災会議の委員である東北電力が総合的な対策を行っている聞いています。東北電力では、全ての新規住宅に関し、地震によるものではないですが、通常の漏電ブレーカーを

避難時に無人の自宅で火災発生!

「通電火災」の危険性を知っていますか?

大地震の際にブレーカーを落とさず避難すると、地震発生から数日後の電気復旧時に、通電状態になった電気機器などが火元となる「通電火災」の恐れがあります。実際に阪神大震災では地震発生から8日後に、避難所生活によって無人になった家で火災が起きています。



防犯カメラ作動中



設置しているとのこと。

また、古い住宅については、4年1回の東北電気保安協会等の点検の際に、強制ではありませんが、設置の指導により、今のところ全棟に設置されているのではないかと回答を受けています。

地震が発生した際に振動による電気を遮断する装置については、効果を發揮すると思われる。今後、一般的に市販されましたら、それも含めて状況を確認し、防災会議等で検討し、推奨等できたらと思っています。

質問 高齢者の交通安全対策は。

答弁 毎年、高齢者を対象に交通安全大会を開催しています。今後、自動ブレーキや加速制御装置等を搭載した自動車の普及啓発、運転シミュレーターによる自己点検、シニアカーの運転講習会など、官民連携した高齢者安全対策に取り組みたいと考えています。

質問 高齢ドライバーの運転免許を返納しやすい環境整備と免許返納サポート制度の創設について

答弁 県内他市で財政的な理由などから廃止を検討していることを踏まえ、返納に限った支援はせず、高齢者の交通安全対策強化や利用実態に応じた公共交通網等の整備を検討します。

質問 「とおかまち男女平等みらいプラン」女性が活躍できる社会づくりの具体的取組みについて

答弁 男女雇用機会均等法や休暇制度に関する情報、キャリアアップや資格取得、働き方、労働環境に関する相談窓口の情報等をメールや市報によって発信しています。また、事業主を対象にセミナーを開催し、制度の理解と利用の促進、啓発に取り組んでいます。

質問 新潟県ハッピーパートナー



高齢者の交通安全対策・女性の就労支援・除雪について

根津 年夫 議員

企業登録制度について

答弁 男女が共に働きやすい職場環境の整備に取り組む事業です。市でも事業所訪問や広報等で周知を図り、事業所の理解と登録を促しています。

質問 除雪オペレータの高齢化・担い手不足対策と高齢者世帯の除雪支援は。

答弁 除雪基本料の前払い制度により、安定した除雪体制の確立に取り組んでいます。建設業協会との懇談会で、冬は除雪で休みが取れないなどが人材不足の要因とご意見をいただきました。今後も意見交換を行い、それを施策に反映したいと考えています。高齢者世帯には、雪処理券や除雪費用を一部助成していますが、真に支援が必要な世帯が利用できるよう、要件の見直し等を検討することになっています。



中条第二病院・老健きたはらの今後、子育て支援の充実

太田 祐子 議員

質問 中条第二病院入院患者の転院の現状は。

答弁 症状により転院先の調整を進めています。12月4日時点の入院患者数は66人で、調整がついていない方は、わずかだと聞いています。

質問 訪問看護ステーションや共同生活援助施設の今後について

答弁 存続することを各運営主体に確認しました。

質問 老健きたはらの施設の後は。

答弁 厚生連が老健施設に限定せず、施設の活用交渉を進め、着実に前進していると聞いています。

質問 当地域の精神医療について知事との協議を早急に行うべきではないか

答弁 時間も限られていますので、知事にも私どもの考えをしっかりと伝えし進めてまいります。

質問 保育無償化による当市の負担軽減と少子化対策としてのどのように活用するのか。

答弁 市の負担軽減額は、32年度以降、年額で約8千400万円と試算しています。各種保育施設の運営費助成や子ども医療費、児童遊園施設の運営費などに充てたいと考えています。

質問 当市の子育て支援施策は県内で



静かに新たな主を待つ「きたはら」

もトップクラス。子育て世代包括支援センターを有効活用するために窓口を明確化し、必要な支援を切れ目なく提供する対応を提案します。

答弁 保健師の地区担当制や母子保健事業と産科医療機関との協力体制により、妊娠期から子育て期にわたる総合的な相談支援事業を行ってきました。新たに産後ケア、産婦健康診査事業などを加え、産後の育児不安を産科医療機関と連携しながら支援する仕組みを強化しています。引き続き、子育て世代包括支援センターを窓口、切れ目のない支援の充実を図っていきます。



外国人観光客の危機管理、「空の産業革命」ドローンの活用

宮沢 幸子 議員

質問 大地の芸術祭やクロアチアとの交流など外国人観光客の増加が見込まれる中、災害が発生した時に避難情報など言語の壁が障害とならないよう、観光庁の災害情報アプリなど支援体制の整備について伺います。

答弁 当市では市民向けの災害情報発信の整備に取り組んでいます。外国人観光客に特化した災害の情報発信は行っていない。現在、ホームページで4カ国語の変換ができますので、災害発生時には可能な限り早急に災害情報を掲載したいと考えています。

質問 観光庁の災害情報アプリについて、市でも検討した中で、県の動向を見ながら、より正確な情報をより早く伝えるという意味を込め、外国人の方に対応できるような方法をこれから考えていきたいと思っています。

質問 人命救助が最優先される災害現場で迅速な情報収集を可能にするため機動力があるドローンの活用は有効な手法です。地域防災計画にドローンの活用を位置付け取り組んでいただきたい。

答弁 市ではドローンを所有していませんが、防災協定を結んでいる36の企業の中で、損害保険ジャパン日本興亜

(株)と災害時におけるドローンの情報収集に関する協力の協定を結んでいます。ほかにもドローンを所有する企業に災害時には協定に基づいて調査依頼をしたいと考えています。協定内容の見直しを行い、ドローンによる調査の項目を明記したいと考えています。

ドローンの活用は、地域防災計画内の被災状況等収集伝達計画に位置付けられています。市の災害対策本部で、県や消防本部、地域の自主防災組織等からの情報を受け、必要があれば防災協定に基づき、ドローンの調査を依頼したいと考えています。



ドローンから望む ミオンなかさと



中条第二病院存続は正念場 新年度予算、大幅削減は重大事態

安保寿 隆 議員

質問 中条第二病院について、民間から手が挙がらない場合、公立でやる覚悟があると知事に訴えたというが、県はどこまで来ているのか。

答弁 知事から明確な答弁はありませんでしたが、我々の気持ちは十分伝わったと思います。精神医療の責任主体が県だということについては、今後の議論の大きなポイントになってくるわけですね。そうした中でできるだけ早く、思いのところは皆さんにお話したいと思っていますが、交渉ごとですので、お話できないときもあり、機会を選んでお話ししたいと思っています。

質問 老健きたはらについて、市として引き続き残してやる気があるのか。

答弁 施設を活用し、今後も生かせるよう、興味のある方に紹介したいというふうに対応してきました。その中で、民間の社会福祉法人との交渉が引き続いていて、伺っており、この圏域の介護の受け皿は、別の主体になるかと思いますが、守られていく可能性が出てきたと思っています。

質問 新年度予算について、突然極端な財政削減案が示された。大型公共事業に頼るやり方は全く古い手法で知恵がない。経済効果は20市中最下位ライ

●人口1人当たり積立金・地方債(借金)残金 (H28年度)

区 分	十日町市	類似団体
積立金現在高	185,744	181,511
財政調整基金	54,622	73,649
減債基金	9,472	25,375
その他特定目的基金	121,650	82,487
地方債現在高	795,013	498,617

類似団体：人口5万～10万人未満の66市の平均
総務省・決算カード統計より (作成：安保寿隆議員)

そういう中で、ちゃんとそうしたものが我々生活者のところにつかりおりてきて、それが循環し消費が拡大してプラスのサイクルに入ってくる。そうしたことがこれから望まれるべき方向だと思っており、ぜひ頑張ってもらいたいと思います。

質問 人事異動と職員採用に対する基本的な考えは。

答弁 限られた人材で持てる能力を最大限に発揮するため、人材育成基本方針を策定しました。人事異動については、3～5年を目途に個々の能力開発や適材適所への配置に努めています。職員採用では、職務に対する強い使命感を持った誠実な人材を基本とし、さまざまなニーズに対応するための基礎的、専門的な能力に加え、意欲を持った人材の確保に努めています。

質問 人事異動と職員採用の現状と課題は。

答弁 潜在能力の発見や人材育成を図るには、さまざまな業務経験が必要で、異動の間隔が極端に短い場合、業務に対する意欲の低下を懸念しています。また、少ない部署での経験しかない場合、自身のキャリアデザインを描く際に、選択の幅が狭まる可能性があることも課題の1つだと捉えています。

質問 人事異動と職員採用の制度に対する検証はされたのか。

答弁 採用については、筆記試験のほかに、一般性格診断検査を行い、性格傾向の面から受験者の特徴を把握し、集団面接、個別面接の参考にしています。



職員の育成と確保について 商標権の取得について

小林弘樹 議員

答弁 能力や適性を把握するため、半年ごとに人事評価を行い、職員に応じた指導を行っています。

質問 当市の魅力を発信する上で欠かせない財産が多々あるが、例えば火焔型土器、大地の芸術祭、十日町雪まつり、むこ投げ等の名称やマーク等の商標登録に市はどう関わっているのか。

答弁 民間での登録は、直接特許庁に出願するため把握していません。市として知名度を上げ魅力発信に欠かせないものに関しては、今後のトラブルを避けるため、商標権の登録を検討する必要がありますと考えています。

●市職員(一般事務、大卒程度)の採用状況

自治体	30年度			29年度		
	一般試験 受験者数	最終試験 合格者数	倍率	一般試験 受験者数	最終試験 合格者数	倍率
奈良県生駒市 人口：120,169人 職員数：8,136人	907	16	56.7	928	12	77.3
十日町市	25	7	3.6	33	6	5.5
新潟市	315	47	6.7	324	50	6.5
長岡市	263	16	16.4	300	28	10.7
三条市	220	8	27.5	358	9	39.8
上越市	82	21	3.9	95	24	4.0
南魚沼市	22	1	22.0	35	5	7.0

各市HP等の数値から算出、年度は試験実施年度 (作成：小林弘樹議員)



冬期支援策と農業における 来年度予算の考え方について

滝沢 繁 議員

質問 法的根拠は憲法25条、生活保護法4条3項で、急迫した事由がある場合、身体的条件のみで雪害から身を守るという考えからすれば認定外除雪支援は2軒でよくて1軒ではなぜダメなのか。

答弁 29年に2戸以上が対象となるよう要件を緩和しました。公共の観点から今以上の要件緩和は難しいと考えます。小型除雪機械共同導入事業や集落安心づくり事業等を組み合わせて活用し、冬の集落コミュニティの維持を図っていただきたいと考えています。

質問 要援護世帯除雪援助事業の要件緩和と制度拡充を。

答弁 真に必要な世帯が引き続き利用できるよう、要件を見直す考えであり、支援の拡充と要件を緩和する考えはありません。

質問 福祉灯油の制度を市独自の制度で生活困窮世帯に支給ができないか。

答弁 過去に原油価格の高騰を受け、緊急対策として実施しましたが、恒常的な制度ではなく、市独自の制度により実施することは考えていません。

質問 松之山農業担い手公社の役割と農業における来年度予算の考え方について

答弁 優良農地を保全するために必要な重要な組織です。仮に公社がなかった場合、相当な面積が耕作放棄地になった可能性が考えられます。

中山間地農業を支えるには、経営基盤を築く必要があり、農作物の高付加価値化や販路拡大、新たな省力化技術の導入等、自己改革に取り組む必要があると考えます。その上で必要な支援を継続していきたいと考えています。

厳しい財政下ですが、活力ある農林業と魅力的な里山のあるまちづくりという基本的考えに変更はありません。来年度予算においては、事業の選択と集中を図り、事業展開に努めたいと考えています。



急がれる雪対策



持続可能・確実な 行財政運営について

小林 均 議員

質問 シーリングについて、市民生活において多大な影響が生じると考える。協働のまちづくりの観点から市民との合意形成をどう図っていくのか。

答弁 予算要求概要説明で、市民のまさに代表である議員のご意見を聞く中で、そうしたものを参考に予算編成を進めたいと考えています。32年度以降は、必要に応じて関係者の意見をお聞きし見直しを進める考えです。

質問 施設維持管理経費の中で、合併特例債によって造られた施設の経費をどこから生み出すのか。

答弁 遊休施設の廃止、除却により、維持費削減は今まで以上に強く進める覚悟ですが、各種利用料を受益者から適正にご負担いただきたいという思いもあります。事業の更なる見直しを図り、財源確保に努めたいと思います。

質問 公共施設等総合管理計画をどのように運営していくのか。

答弁 小中学校の統廃合計画なども議論されているように、施設が所在する地域の意向をしつかりとお聞きする中で、来年度以降も予算の範囲内において、可能な限り優先して公共施設の減少に努めます。

質問 総合計画や総合戦略に掲げた事



段十ろう

業の見直しや縮小など、今後どのようにするのか。

答弁 将来の公債費比率の上昇について、今までのようにいかなくなるという心配はあるわけですが、特別会計を合わせた地方債残高は、臨時財政対策債を除き、合併時から29年度末で約100億円減少しています。実質公債比率も含め健全な状態であり、しっかりと管理されているものと考えています。限られた厳しい財源の中では、事業見直しもあるかもしれませんが、現在のところ総合計画の基本方針などを変更する考えはありません。



子供たちの現状と将来は、 高齢者介護と認知症について

高橋俊一議員

子ども達の相対的貧困状況は、

13・9%と言われるが、そのような経済的に不安な子育て中の家族に対しての支援体制とこれからの対応を伺う。

答弁 市では、県内でも上位の保育料の軽減や18歳までの子ども医療費の助成、また、ひとり親家庭等医療費助成などに積極的に取り組んできたところです。

質問 教師が抱える想定以上の忙しさにどのように対応しているのか。

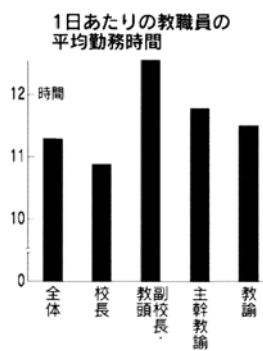
答弁 各学校の事例紹介や意見交換、管理職への指導、部活動指導員の配置等で情報提供と指導、人的配置や新しいルールづくりを行っています。

質問 家族のために介護離職した人数を把握しているか。また、介護職員の現状と対応は。

答弁 介護離職した方は、推計で60名程度と考えています。市内介護職員数は約1,100名とのことです。

今後、介護人材不足も予想され、市内団体では中高生を対象に、将来的な担い手確保にむけた取り組みが行われています。

質問 十日町市の高齢者による認知症と、若年性認知症（65歳以下）の現状認識と対応はあるか。



左表は厚生労働省が 2018 年作成の小中高教職員 5 万 6456 人を対象の勤務状況。1 日の平均勤務時間は全体で 11 時間 17 分。学校別では、中学校が 11 時間 37 分と最も長かった。

(作成：高橋俊一議員)

若年性認知症は、介護保険などで支援が可能で、県内9カ所に専門コーデイネーターを配置した窓口も設置されています。一人で悩まれて、適切な治療につながらないケースが見受けられるため、相談事業のPR、充実に図ることが第一歩だと考えています。

質問
政府は放課後児童クラブの職員

基準緩和を行う予定でいるが当市の考
えについて伺う。

答弁 Ⅰ教室職員Ⅰ名体制は、放課後児童クラブの開設、運営に支障が生じる可能性があり、考えてはいません。

要件基準緩和については、急に利用児童が増えたときや閉所時間後の居残り業務を行う場合などに、柔軟な対応が可能になるものと考えています。

質問 先月11月より学校給食のお米が十日町産魚沼コシヒカリから地元産こしいぶきに変わった経緯を伺う。

答弁 安価な作付けにに応じていただけ
る農家が見込めず、従来と同価格で調
達できなくなりました。地元米を子ど
も達に提供したいと考え、こしいぶき
が学校給食会の統一米と同じ価格で調

達できるうえ、数量も確保できる見込みが立ったことから提供することになりました。

質問 国産材利用促進で地域活性のチャンスである森林環境譲与税の使い道や構想を伺う。

答弁 運用に当たっては、新たに基金を創設し、市が経営管理を行う私有林整備に活用推進し、私有林整備面積の拡大を図り、担い手の育成、なりわい



放課後児童クラブ・学校給食
の米飯、森林環境税について

大嶋由紀子
議員

の場を拡げていきたいと考えます。

児童遊園の遊具や玩具等で木製遊具等の採用もあるかと思います。公園を一体としてインスタ映えするポイントをつくることは大事だと思っています。

質問 森林環境譲与税は、山がない所にも財源が行くということで、山のない所や友好都市などと協定を結び、木材の提供先を確保しなければならぬと思います。その点はどのように考えているのか。

答弁 交流都市等との連携も非常に大事だと思っておりますので、そういう視点で計画をつくっていきたいと思います。



林野庁ホームページより



地方分権改革の推進と キャリア教育について

富井 高志 議員

質問 地方分権を推進するために「提案募集方式」を活用するべきでは。

答弁 広く地方自治体から提案を募集するために取り入れられた制度で、提案に当たっては、さまざまな条件が要項で定められています。

この提案要件にそぐわない内容や、市民ニーズに沿った制度改正等が必要な案件は、市長会、過疎自立促進連盟や関係各省庁へ直接要望するなど、国に対して提案、要望をしています。

一方で、事務権限の委譲について、当市においては、平成18年度から42の事務権限を県から譲り受けています。これにより、受け付け事務の迅速化が図られ、市民サービスの向上が図られると考えています。

質問 保幼小中高までの系統的なキャリア教育を展開するべきでは。

答弁 高校までつながるガイドラインは、まだつくっておりません。市で行っている、まちの産業発見塾に参加していたかどうか、総合高校を中心とした十総地域キャリア教育支援協議会に市も入っていた中で、高校とのつながり、キャリア教育のつながりを研究し始めているところです。

人生の先輩に当たる若い社会人や学

生といった方々とのつながりは、非常に大事だと考えています。市内の学校では、若い卒業生を講師に招いて講話や交流を行っているところもあります。子ども達にとって、身近な先輩からの言動は、具体的にイメージできる憧れを抱かせたり、将来の夢や希望を膨らませたりすることが期待できます。大事な人間関係の一つと考えていますので、今後もそういった方々を招くことについて、学校を支援していきたいと思っています。

- 地方分権改革は、「地方の仕事を増やす」のではなく、地域に即した住民サービスの提供、行財政の効率化を進める手法
- 「提案募集方式」は、地域が実際に直面する課題を解決するため、地方の発意で国の制度等を変えることが出来る手法

(作成：富井高志議員)



大地の芸術祭の検証と次回に向けた地域活性化の取り組み

水落 静子 議員

質問 第7回大地の芸術祭での地域活性化の成功事例について伺います。

答弁 吉田地区の中心集落では、地区振興会や集落の皆さまからおもてなしで来訪者を歓迎いただき、中条地区では、中条地区振興会の皆さまから作品管理や盛り上げに役買ってもらいました。また、キナレでは、東部地区、十日町地域振興会連合会、西部地区振興会の皆さまから日替わりで案内、おもてなしに努めていただきました。ほかにも多くの地区や集落で継続的に携わっていただき、地域活性化と地域間交流に一役買っていたいただいています。

質問 宿泊先が足りない当市であるが、雪国観光圏との関係はどのようになっているのか、使われていないグラウンド等をキャンピングカーキャンプ場として再活用するお考えはないか。

答弁 雪国観光圏全体でPRしていただくと同時に、多くの宿泊客を受入れていただきました。また、多額の協賛を頂戴しています。今回の誘客にも大きく影響を与えていただいております。非常に重要なポイントだと思います。

大蔵寺高原キャンプ場は、リニューアルして更にグレードアップを進めています。ほかのキャンプ場でも、お客

様が利用しやすいように整備計画を立てていくところです。具体的には、これから検討したいと思っています。

質問 少子高齢化、過疎、地震の復興、市町村合併のための大地の芸術祭は、海外のお客様を迎え新たに課題が。市民、行政、関係者の情報交換、話し合いが必要と思うがお考えを伺います。

答弁 芸術祭で頑張った皆さん、成功体験を持った方が、お互いを理解し、つながることは、合併した十日町市が更に強くなる一つのやり方だと思います。市も参加する形での会が、しっかりとできるようにしたいと思います。



マ・ヤンソン/MADアーキテクト「Tunnel of Light」
(Photo by Osamu Nakamura)



重要かつ緊急を要する来年度 予算の確保策について

樋口利明 議員

質問 中条第二病院存続のための、市長の最新所信と予算措置はいかに？ 年末始の挨拶回りや1月の市長予算査定において何らかの決断をし、市民への説明責任を果たして欲しい。

答弁 精神医療、介護保険サービス確保に必要な予算については、適時適切に判断し対応していきます。

市民の皆様は、新たな医療体制は確保しましたのでご安心くださいと申し上げることができるよう、今全力で取り組みんでいますのでご理解を賜りたいと思います。

精神医療に関しては、我々はお願する立場です。交渉ということもあり、その場の状況が変化していく中で対応しなければならぬという意味で、間違えないようにという心構えは常にあります。3月末というタイムリミットがありますので、そこに向けてどういうシナリオがあるか、しっかりと精査して、市民の皆様にとって間違いのないように行動したいと思っています。

質問 一般財源の確保、特に人件費のうちの手当について、民間のそれと照らして公表し、納税者市民の意見を調査していただき、手当の削減に取り組んでほしい。



署名簿を市長に渡す地域医療を守る住民の会の皆さん（H30年3月）

答弁 そのときの経済状況、政治状況を踏まえた中で総合的に判断するべきものと思います。

合併時は市税収入よりも職員賃金が60億程度と、多い状況でしたが、今は市税が若干伸びて、職員給与は30億台まで下がっています。その意味でご理解いただいている部分もあるのではないかと思います。これからの職員定数も見ながら、臨時職員の待遇も変わりますので、総合的に勘案する中で、事務事業の見直し、民営化などを駆使し、総人件費に関してはコントロールしていかなければと思います。



岡田紅陽の富士山写真の活用 東京五輪後の縄文文化活用策

吉村重敏 議員

質問 千円札、旧五千円札の富士山図柄の写真を取り、「ふじやま」で日本の気高いイメージを世界に広めた写真家岡田紅陽の功績は計り知れない。紅陽写真の活用策と著作権について伺う。

答弁 31年2月23日、静岡、山梨県などが制定する富士山の日を含む期間に、情報館で写真展の準備をしています。

次年度以降、旧十日町市以外での写真展や作品の貸し出しルールを定め、展示会等の開催を検討しており、世界的に著名な写真家が、十日町市出身であることを市内外へ周知していきます。

版權、著作権は、富士山麓の忍野村にある岡田紅陽写真美術館が管理しています。複写して使用する場合には、申請すれば無償で使用許可を出していただけるということです。今後、美術館に確認しながら企画展等を運営したいと考えています。

質問 写真館を建設しないか。

答弁 紅陽写真は、所蔵点数が少なく、長期間の展示は作品に負荷がかかると思われることから、施設の建設は考えていません。

質問 東京五輪に火焰型土器聖火台を要望中だ。内外の評判が高く縄文文化評価は止まらない。五輪後の縄文文化



千円札の図柄に採用されています

発信活用策はどうか。体験交流展示施設、遺跡周辺整備に全国企業活力を導入しないか。

答弁 縄文文化の発信は、文化プログラムの大きな政府の期待であることは間違いありません。それにお応えするという中で、そのタイミングに合わせて、耐震化する予定だった博物館も計画を変更し建設を決断しました。

全国規模の大手企業やコンサルタントが、市の活用方針に沿った形で参画いただければ大変ありがたいと考えています。そういった話がどんどん来ればいいと思います。



完了事業の利用・拡大策と 手段としての地域振興事業は

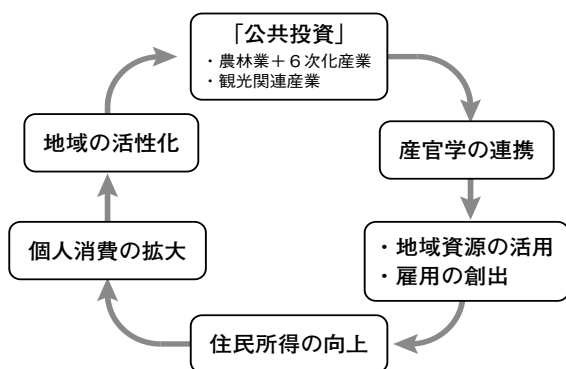
小野嶋哲雄 議員

質問 新年度予算において持続可能な「身の丈」に合う編成方針が発表されましたが、①完了事業と継続事業の利用・活用拡大策の再チェックは。②ハード事業を手段とする地方創生推進ソフト事業への積極的取り組みは。③イベントに依存し過ぎた一過性の地域振興策から原点回帰での一次・二次産業重視の公共事業への転換は。④目先の華やかさを追いかけて、産官学の連携で力強く循環する政策集団づくりは。

答弁 ①例えば段十ろうは、さまざまなイベントを実施し、利用者数は増加しています。市の主催事業の継続と各種公演事業の誘致等にも一層務めたいと考えています。
②ハード事業の新規整備において、これまでと同様に費用対効果を見極めて進めるとともに、地方創生推進交付金などの有利な事業に取り組み、市民との協働による事業展開を進めます。
③芸術祭が棚田バンクを生み出したのも一つの例です。魅力を磨くことによって、お客様をここに呼ぶことが大事だと考えます。観光業という三次産業はわりと新しく、ご質問のようなご意見もありますが、意外にこれをしっかりさせることで新しいビジネスチャン

スが生まれる可能性は大いにあると感じます。
④現在、県内3つの国立大学法人及び滋慶学園グループと協定を結び、さまざまな分野で相互協力し、施策の充実を図ってきました。それぞれの大学等が持つ専門技術、知識、情報等を市の施策に活用する一方で、多くの学生から当市での研究調査に関わっていただくことで若者との活発な交流に結び付けたいと考えています。

●地域活性化、経済循環サイクル模式図



(作成：小野嶋哲雄議員)



ふるさと十日町を愛する 子供の育成は自校給食方式で

鈴木和雄 議員

質問 学校給食施設のセンター化を進める一方で自校給食校の衛生管理改善が後回しになっている現実をどう受け止めているのか。

答弁 センターでなければ衛生が保てないということではなく、自校給食では施設の広さから、調理、洗浄など各室の分離が難しく、安全管理の区分に限界があるので、施設的にゆとりあるセンターでの給食提供を目指したい、それがセンター化を進める大きな理由です。

質問 任意組織による農産物納入で地産地消率が伸びていますが、こうした組織と子ども達との交流をどう深めていくのか。

答弁 農家の皆さんが食材について、自分がつくったんだよというお話を一言添えて給食会に参加されることがあれば、野菜嫌いの子どもも愛着を持って食べてもらえるのではないかと思います。センター化している学校でも、給食会のような取り組みができると思いますので、今後積極的に検討したいと思っています。

質問 ブランド米の十日町産魚沼コシヒカリを給食に提供するに必要な財源の1千万円は、当市の財政規模からすれば十分可能ではないか。

●学校給食調理施設整備計画 H33年度

中央給食センター (1,401食)	十日町小・中条小・東小・飛渡第一小・西小・川治小・ふれあいの丘 計7校
水沢給食センター (766食)	水沢小・馬場小・田沢小・貝野小・水沢中・中里中 計6校
十日町給食センター (749食)	十日町中・中条中・南中 計3校
川西給食センター (961食)	下条小・吉田小・鑑島小・千手小・上野小・橘小・下条中・吉田中・川西中・川西高等特別支援学校 計10校
松代給食センター (293食)	松代小・松之山小・松代中・松之山中 計4校

※ご飯は委託炊飯です。(松代給食センター除く)

(作成：鈴木和雄議員)

答弁 予算編成の中でしっかりと検討していきたいと思っています。
質問 大地の教育ファームの成果と今後の取り組みをどう進めるのか。
答弁 農業に対する意識が変化した、収穫の喜びや食への興味が深まるなど意識の向上が見られます。自ら栽培した作物が給食の食材となり、親近感が高まったことから、地産地消への理解が深まったことがうかがえます。
今年度は事業を廃止しましたが、生産者と共に農作業を行い指導を受けることは貴重な体験ですので、今後も有効な手立てを模索したいと考えています。



中条第二病院、宮中発電所、雪まつりを問う

藤巻 誠 議員

質問 中条第二病院の現状と地域医療の課題①患者調整という名の転院の取り組みの現状と課題は。②存続に向けた当市の取り組みと今後の見通し。③日赤や済生会病院と同じく公的病院の厚生連の企業責任をどう考えるか。④県の地域医療構想に照らした当圏域の精神医療の現状と課題。

答弁 ①転院調整がしていない方はもうわずかと聞いています。②県と厚生連の交渉を見守りながら、必要があれば知事に直接面談することも検討しています。③これまで条件不利地域で不採算の特殊医療を担ってこられたという事実は評価すべき点だと考えています。中条第二病院の現状を捉えて、厚生連全体の企業責任として追求することは難しいものと考えます。④精神病床は地域医療構想の対象ではありませんが、医療の進歩により、今後増加が見込まれる在宅で暮らせる方を支える地域精神保健医療、福祉体制の基盤整備が今後の重要な課題だと考えます。

質問 (仮称)宮中発電所計画の現状と課題、実現に向けた取り組み。

答弁 関係者や専門機関のお話を伺いながら鋭意検討を進めているところですが、まず優先しなければならない課題

●魚沼圏域内精神病入院者数

平成30年3月末現在

病 院 名	入院患者数	備 考 (県との比率)
魚沼機関病院	33 人	
ほんだ病院	100 人	
五日町病院	186 人	
中条第2病院	159 人	
魚沼圏域 合計	478 人	8.68 %
新潟県 計	5,509 人	100 %

(作成：藤巻誠議員)

答弁 検討委員会の提言書の新しい要素を取り込んだ雪まつりとしていくために、雪上カーニバルを含め、個々のイベントの抜本的な改革を視野に入れながら、十日町雪まつりの魅力を更に磨き上げていきたいと考えています。

質問 十日町雪まつりの70回以降の在り方は。

答弁 は、維持流量の確保と管理の方法、河川環境の確保であると考えています。事業の実現に当たっては、J R 東日本からの協力が必要不可欠です。共生のよきパートナーとして引き続き協議を進めたいと考えています。



十日町市の水道事業における施設設備と事業会計について

福崎 哲也 議員

質問 簡易水道、上水道の管路における耐震化率と石綿管使用距離を伺う。あわせて今後の管路の布設替え工事の計画、更新時期を伺う。

答弁 管路の耐震化率は、上水道で7.5%、簡易水道については耐震化が進んでいない状況です。石綿管は上水道で2.7km、簡易水道では26.9km残っている状況です。

更新需要見込み、財政収支見込みの結果をもとに、来年度更新計画を策定し、効率的な耐震化と老朽化した施設、管路の更新を順次行います。

質問 簡易水道、上水道の浄水場、配水池の耐震化率を伺う。

答弁 今回の改築で十日町浄水場は耐震化がされています。上水道施設の耐震化率は配水池で12.3%、簡易水道施設では浄水場で33.3%、配水池では31.9%です。

質問 現状の水道事業におけるコスト削減をどう検討しているのか伺う。

答弁 施設の統廃合を進め、中長期的な維持管理経費の削減を行いたいと思います。施設の運転・維持管理も、包括的な民間委託を検討し、民間ノウハウの導入によるコスト削減を図ります。

質問 水道料金改定も今後の検討課題



計画的な更新が望まれる水道管

としているが、計画状況は。

答弁 現在、料金改定の検討は行っていない。まず自助努力をした中で、経費、収入を明らかにし、次の段階として料金等の検討を考えています。

質問 水道法も改正され、これからの当市の水道事業のビジョンを伺う。

答弁 経営改善への取り組みも含め、将来的な目標、実現のための施策を示した新水道ビジョンを平成32年度末までに作成したいと考えています。

美しい山々、すばらしい森林に囲まれた土地にふさわしい良質な水を供給し続けられるよう努めたいと思います。

総務文教常任委員会

管外視察報告

10月9日～11日

◇島根県雲南市
(子ども・若者・
大人チャレンジの
取り組み) ◇島根
県庁(関係人口拡
大への取り組み)
ほか

若者の共感を得て、今は
250人近い若者が移住。
また、都市部のプロフェ
ッショナル人材も43名移
住している。

また、島根県と各市町
村は過疎先進県の危機感
が共有されており、関係人
口増加にも取り組んでい
る。近年、子育て世代が
中山間地で増加傾向にあ
る理由を聞くと「要因は
分析中だが元気があり、
おもしろい地域であるこ
とが共通している」との
こと。最後に、「地域づ
くりの根源は教育にあ
る」という県担当者の言
葉が強く心に響いた。

雲南市キャリア教育推
進プログラムは高校生ま
でを対象とした一貫性の
ある取り組み。
・小学生対象の通学合宿
・中学三年対象の一泊二
日宿泊型セミナー
・中高生対象の海外短期
留学への費用支援
・大学生による中高生向
け週末塾など、机上では
なく、体験を通して学ぶ
ことに重点を置くもの。
一人の女子高生が視察を
傍聴していたが、将来は
雲南市役所で働きたいと
言った。これもキャリア
教育の成果と言える。雲
南市の取り組みは多くの



島根県庁にて

産業建設常任委員会

管内視察報告

10月9日

◇妻有ビール(株)
(醸造所の見学)
◇ゆきぐに森林組
合(なめこ販売・
培養状況)
◇大蔵寺高原キャ
ンプ場

トン、震災で被害を受け
大変な時期を乗り越え、
今では軌道にのった。菌
を植えて3か月で出来る
工場は、ほぼ自動制御の
日本有数の施設とのこと
で、雇用の場として、地
域産業発展の中心的役割
をはたしています。
③スノーピーク監修で生
まれ変わった大蔵寺高原
オートキャンプ場。吸い
込まれるような大自然と
農業用ため池がマッチし
ています。芝生が植え込
まれ、サニタリー棟など
施設が充実し、用品をリ
ースでカヌーやキャンプ
を手軽に体験できる施設
で、利用客上昇中です。



大蔵寺高原の管理棟2階

厚生常任委員会

管内視察報告

12月17日

◇医療福祉総合セ
ンター(工事の進
捗状況)
◇児童遊園屋内施
設(工事の進捗状
況)

「医療福祉総合センタ
ー」及び「児童遊園屋内
施設」は現在工事中です。
「医療福祉総合センタ
ー」は、一次救急と二次
救急の連携強化などを目
的とした休日一次救急診
療センター、医療と福祉
を取り巻く環境の変化へ
の対応を目的に医療と福
祉の連携強化に向けた拠
点機能及び当地域におい
ては唯一の高等教育機関
として期待されている県
立看護専門学校の機能を
有する複合的な施設とし
て整備されます。なお、
冬期間は休工し、整備区
域の一部を雪出し場とし
て開放し、市民生活に貢
献するそうです。
「児童遊園屋内施設」
は冬でも親子で思い切り
遊べる施設です。円形遊
戯棟は開放感のある約
7・9mの高大天井を利用
して大型遊具が設置され
ます。子ども達が楽しみ
ながら体力の向上も期待
できる施設で、今後は乳
幼児用遊戯スペースや運
動場なども整備されます。
完成した際は多くの子ど
も達から利用いただきた
いと思います。
この二つの施設が、十
日町市の未来を育む大切
な宝物になることを期待
しています。



児童遊園屋内施設

会派通信

自由の風



会派自由の風（藤巻誠、吉村重敏、山口康司、根津年夫）では、市民の皆さんの負託に応えた活動をするために、日ごろから会派内で活発な意見交換を行い、共通認識を深めています。

七月は、島根県へ視察。初日は移住支援が手厚く「日本一の子育て村構想」を掲げている邑南町^{おのなん}へ。人口約一万人、高齢化率約43%。『子育てするなら邑南町で』を合言葉に平成23年から取組んでいます。26年には人口が20人増加、合計特殊出生率も28年2・07と着実に成果を上げています。当市としても参考となるもの

でした。

翌日、世界遺産石見銀山のある大田市^{おおだ}へ。世界遺産登録後の観光振興について説明を受け、現地を体験視察。地元住民は無秩序な観光開発を敬遠し、あえて観光客激増を望まず、静かな自然環境と賑わいを選択。結果、出雲大社など有名観光地への通過型観光地となり、日本人観光客は年々減少。しかし、徒歩とサイクリングという健康増進型の観光で外国人観光客は増加傾向にあります。住民の暮らしと観光の両立については考えるべきものがありました。



移住支援が手厚い邑南町

だいち



地域経済循環創造事業交付金を活用して、施設や設備を整備したうるま市のアンリッシュ食品工業（株）を視察。地元の農家、漁業者、畜産業者の資源を新しい冷凍技術（フロン凍結機）により新ビジネスモデル事業を展開しています。東南アジア、中国、台湾、日本国内へ冷凍食品として出荷し、地元従業員を雇用、就業を創出している会社です。6次産業化成功事例として沖縄長生薬草本社を視察。誰も注目していない薬草に着目し、業界で初の薬草十六種ブレンド茶を発売、春ウコンの打錠製造技術を確立し日本

におけるブレンド茶・薬草・サプリメントのパイオニア的な存在です。自社農地や耕作放棄地など約2万坪で薬草を有機・無農薬で栽培するとともに、地元生産者25戸と契約を結び薬草を調達しています。オリオンビール（株）や（株）ユウグレナ、琉球大学、岡山理科大学と共同研究をして商品開発に取り組んでいます。併設するハーブレストランでは自然バイキングを提供しています。従業員は中国人やパートを含め90人、年間売上高5億円。四十年間にわたる努力の成果に感動しました。



沖縄長生薬草本社前で社長と一緒に

三矢会



十日町市議会の三矢会（村山達也、鈴木一郎、小林均、星名大輔）では市民の基本的な要望である「所得の向上」を目指しています。十日町市の景気は農業と織物産業という二つの外貨獲得手段に支えられてきましたが、近年はその経済成長の方程式が崩れつつあります。先日は農業の新たな品種改良技術である「凍結解凍覚醒法」を視察してきました。これは、植物の苗を凍らせて溶かすことで、遺伝子の情報に変化し氷河期時代の耐寒性がある苗に覚醒するという特許技術です。バナナやコーヒーなど熱帯でしか育たない作物もこの技術によって日本国内でも栽培することができま

す。三矢会をよろしくお願いします。

もう一つの外貨獲得手段である織物産業については、和装振興が図られるように市に訴えてまいります。三矢会をよろしく



新技術で栽培されるバナナ

新年度予算の編成作業について

議員の意見を聴取

十日町市では、市町村合併に伴う
地方交付税の優遇措置期間の終了を
見据え、持続可能な「身の丈に合った」
行政を行っていくため、平成31
年度予算編成の作業を進めています。
12月17日には、各課等で検討してい
る「主な事業の要求概要」が市議会
全員協議会で示され、12月20日に
市長同席のもと、当局より示された
要求概要について、議員より意見が
出されました。

市長からは、各課からの要求に対
して議員から意見を聞くことは過去
にはない異例の対応であること、合
併による交付税の優遇措置が終了す
る平成33年までの3年間でソフトラ
ンディングさせたいとの強い思いが
あつての対応であるとの発言があり
ました。

議員からは、事業継続を求める意
見、対象者の拡充を求める意見、予
算額や内容が疑問視される事業につ
いては市民に問うべきとの意見、廃
止される事業については事前に議員
に周知徹底すべきとの意見、補助金
を支出する関係団体の内部統制が必
要との意見など複数の意見や要望が
出されました。また、予算減額に伴
い事業継続が懸念される意見が出さ
れた一方、持続可能な財政運営のた



12月20日 全員協議会

県知事表彰



◎自治功勞

庭野政義議員

庭野議長が、地方自治におけ
る顕著な功績をたたえられ、去
る11月16日県庁において、平成
30年度新潟県知事表彰を受けま
した。

4/1 会議録検索システム デザイン変更!!

本会議の議事録を閲覧できる会議録検索システム
がリニューアルしました。それに伴い、現在の会議
録検索システムのアドレス(URL)は3月31日(日)
に閉鎖し、使えなくなります。

お気に入りやブックマークなどに登録されている
方は、お手数ですが下記の新アドレス(URL)へ
の変更をお願いします。

■新しい会議録検索システムのアドレス(URL)
<http://ssp.kaigiroku.net/tenant/tokamachi/SpTop.html>

3月定例会の日程

次の定例会は、3月1日(金)からです。詳し
い日程は2月22日の議会運営委員会で決ま
ります。決まり次第に市のホームページでお
知らせします。

表紙写真について

今月号の表紙は十日町総合高校写真部の作品です。

十日町総合高校写真部



十日町総合高校写真部では、現在2年生1名1年生11名
で活動しています。去年は色々な所へ行き撮影をしたり、地
域と協力をして写真展示などをしました。今年は去年以上に
受賞入賞が増える用に全員で努力していこうと思います。

あとがき

ちよつと遅いですが、あけ
ましておめでとうございます。
この議会だよりが届くころは
雪まつりの作業で汗をかいて
いるころでしょうか。

昨年の漢字一文字は「災」、
県知事は「転」を選びました。
5月には「平成」から新しい
年号へ変わります。

中山間地でも市街地も過疎が
進み、空き店舗、空き家が増
える中、昨年末十日町ビジネ
スコンテスト「トオコン」が開
催。創業起業のアイデアを
9組の大学生やIUターナー者
等が、力強く自信を持って発
表。その姿は心に響きました。
市民の皆さんと一緒に「一
歩を踏み出す」そんな年にし
たいですね。
(水落静子)

【お問い合わせ】

十日町市議会事務局

〒948-8501
十日町市千歳町3丁目3番地
市役所本庁舎3階

電話 025-757-3119
FAX 025-757-5999